

## 保健の授業を通して 交通マナーの意識を高め 自ら危険を予測し 回避することができる生徒を育成する学習の事例

## 交通

高等学校 1学年 保健

授業づくりのポイント

- 交通安全かるたを使用し、主体的、協同的に交通ルールを学べるようにする。
- 学校近辺の標識等を使用し、身近なところに危険が潜んでいることを理解させる。
- 危険予測・回避能力を高め、自ら危険を回避することができるようとする。

単元（題材）について

**1 題材名** 「自らの交通マナーの意識を高め、危険を予測し回避することができるようになろう」

**2 目 標****II－2 自転車の安全な利用と点検・整備**

自転車の安全な利用・点検や整備について理解を深め交通法規を守って安全な乗車ができるようとする。

**II－3 二輪車・自動車の特性と心得**

二輪車・自動車の特性について理解し、道路の安全な歩行や走行ができるようとする。

**3 教材化の視点**

2年間の指導を通して、生徒自らが交通安全についての意識を高めることができるよう「日常的な安全指導」「定期的な安全指導」を実施し、通学時における意識は高まってきた。しかし、第1学年の生徒は昨年度の安全教育を受講していないため、第2、3学年の生徒に比べて若干意識が低いように感じられる。そこで、「教科等における安全学習」として「保健」の授業で上記のテーマを学習することとした。特に本校は現在校舎改築中で大型ダンプトラックが往来しており、生徒の危険予測・回避能力を高めることは喫緊の課題であると考える。

指導計画（3時間扱い）

時間	○主な学習活動	◎安全教育の視点に立った留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故の現状から、課題を考える。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の要因を知る。 (主体要因、環境要因、車両要因)</li> </ul> </li> <li>○それぞれの要因から、自分にできることを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故の要因を十分に理解させる。</li> <li>○自己の経験から、事故の要因を考えさせる。</li> </ul>
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運転手に必要な資質は何かを考える。 ・運転者の資質、マナーについて具体例を挙げる。</li> <li>○運転者として適切な判断をするために、危険予測をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通ルール、マナーについて具体例を交えて理解させる。</li> <li>○事故を防ぐために必要なことについて具体的に考えさせる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どのような責任をとらなくてはいけないのかを理解する。 ・交通事故を起こした際の責任について知る。（刑事上、民事上、行政上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事故の罰則や加害者になった時の補償について理解し、加害者にならないために交通法規を守る意識をもたせる。</li> </ul>

## 指導事例（第2時／3時間）

### 1 ねらい

交通事故を防ぐためのマナーを理解し、運転者として必要な資質を身に付け、適切な判断ができる。

### 2 ポイント

交通安全かるたやグループワークを通して主体的・協同的な学びを促し、自ら危険予測を考える力を身に付けさせる。

### 3 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点	■評価（評価方法）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の内容・目標の確認をする。</li> <li>○交通安全かるたを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かるたをグループごとで行い、「日常的な安全指導」、「定期的な安全指導」で学んだことを振り返る。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">交通事故を防ぐための運転者の資質、マナーを理解し、判断力を身に付けよう。</div>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運転者の資質、マナーについて考える。</li> <li>○運転者に必要な資質は、自他の生命を尊重する態度であることを理解する。</li> <li>○自転車においては、自転車安全利用五則を守ることが大事であることを理解する。</li> <li>○右図を示し、危険予測をする。</li> <li>○死角について理解する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車側の死角</li> <li>・自動車運転者側の死角</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考える時には個人で考えた後、周りの生徒と共に考える時間を与え、教え合いの時間を設ける。</li> <li>○普段利用する学校近辺の道路にある標識を示し、なぜ標識が存在するのかを考えやすくする。 (危険予測の図)</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の内容を振り返り、交通安全に必要なルール、マナーを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒に答えさせることで、理解できているかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■運転者の資質や危険予測について、具体的な内容を自分で考えることができる。（ワークシート）</li> </ul>

### 生徒の感想

- ・毎日通っている道だけど、あまり気にしていなかった。これからは標識を見ながら通学しようと思う。
- ・見通しの悪い場所では十分に危険予測をし、事故に遭わないようにしたい。
- ・交通ルールを守ることは、自分の身を守ることもそうだが、何より人の命を奪わないために必要だと感じた。

### 生徒の変容

- ・学校近辺の写真を例示したためか、自分のこととして考えられているようだった。
- ・朝の通学時、通用門の目の前の一時停止の標識を守ろうとする生徒が増えた。